ほしぞら通信

2023年 12月号

● 星図資料提供：アストロアーツ

見たい方角を下にして星図を持ち
その方角に向かって立ったら
目の上の高さにかざして
見たい星座を探して
みましょう♪

福岡ではおおよそ以下の時間に
星図のような星空となります。

上旬：21 時半頃
中旬：20 時半頃
下旬：19 時半頃

天文トピック

- 12 月 13〜15 日：ふたご座流星群（極大 12 月 15 日 4 時頃）
- 12 月 17〜18 日：月と土星が接近
- 12 月 21〜23 日：月と木星が接近

【12 月の満月】 コールドムーン （寒月）

今月のお月さま

- 下弦：12 月 05 日
- 新月：12 月 13 日
- 上弦：12 月 20 日
- 満月：12 月 27 日

星の歳時記

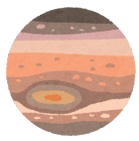
「なぜ 1 年は 12 か月なのか」考えたことはありますか？実はこれ、はるか昔の人たちが、暮らしのリズムを宇宙のリズムに沿って考えたからなのです。

たとえば、月が新月から満月を経て次の新月になる周期が「ひと月」といった具合ですね。その「ひと月」を 12 回繰り返すと同じような季節が巡ってくるので、それをひとまとめにして「1 年」を数えるようになったというわけです。この月の巡りを基本に考えた暦を「太陰暦」と言います。

しかし、太陰暦の 1 年は実際の地球の公転より 11 日程度短いものでしたので、3 年経つとひと月分季節がずれてしまい、その修正を行う必要が出てきます。そこで、暮らしを大きく変えないように「12 か月」というリズムを残しつつ 1 年を 365 日として考え直したのが、現在私たちが使っている「太陽暦」なんです。

さて、その 12 番目の月が今年も巡ってきました。今年は皆さんにとってどんな一年でしたか？ やがて地球は今年の 1 周を終わり、次の 1 周をスタートさせます。私たちもきちんと一区切りをつけて、来年の準備をしないといけませんね。

見るなら今でしょ!!



　惑星の王様「木星」が空高く上って見頃を迎えています。木星は英語で「Jupiter(ジュピター)」、ローマ神話で「全知全能の神、神々の中の神」を指します。ギリシャ神話では同様に「大神ゼウス」と呼ばれています。今月、木星はマイナス2.8等もの明るさで輝き、まさに王様にふさわしく、全天で一番明るい星となっています。

　木星は小さな望遠鏡や双眼鏡でも、「ガリレオ衛星」と呼ばれる明るい4個の衛星や、木星本体の縞模様を観察することができます。少し大きな望遠鏡であれば、縞模様が直線的なものではなく複雑に入り組んでいることも見ることができるようになります。木星の明るい4個のガリレオ衛星は、17世紀に天文学者ガリレオ・ガリレイが初めて観測・記録したことから名付けけられました。

資料提供：アストロアーツ

　近年、さまざまな大型望遠鏡や惑星探査機の観測によって、これまで80個もの木星の衛星が見つかっています。さらに今後観測が進むと、その数はさらに増えると考えられています。地球の衛星は月1個ですから、これもまさに王様ですね。

　今月はもうひとつ見逃せない現象があります。12月14日(木)の深夜にピークを迎える「ふたご座流星群」です。近年は1時間あたり70個ほどの流星が観測されており、8月のペルセウス座流星群を超える数となっています。今年は月明かりの影響も少なく、絶好のチャンスです。この機会に流星を見ることに挑戦してみませんか？

　季節が冬になって夜はかなり冷え込みます。暖かな服装で夜空を楽しみましょうね。

星乃よもやまばなし

『ジャウザーって誰 !?』

　冬の代表的な星座であるオリオン座。そのオリオン座を形作る星の名前も左肩にあるベテルギウスや右膝のリゲルは知っている方も多いと思います。

　他にもベラトリックスやサイフ、ベルトの位置にある三ツ星もアルニタク・アルニラム・ミンタカとしっかり名前が付いています。目視出来る星が多いオリオン座は昔から多くの人々に親しまれていたんでしょうね。

　そして、このオリオン座を形作る星の名前。由来を調べてみるとジャウザーの帯（オリオンの三ツ星）やジャウザーの手（ベテルギウス）と出てきます。このジャウザーが何なのか気になって、さらに調べてみると、アラビアの女性（男性じゃないんだ…）の名前ということでした?!

　だったらオリオン座じゃなくてジャウザー座にしたらいいんじゃないかとじゃ思うんですが (^^;

　この冬に見上げるオリオンはちょっと違って見えるかも…

ヒトリゴト

　今から20年以上前になりますが、友人４人で年末年始にかけオーストラリアに旅行に行きました。

　その時のメインイベントはエアーズロックに登ることだったのですが、現地のホテルで星を見に行くツアーを見つけたので参加することに。

　夜になりツアーバスに乗り込み、星の見える場所まで移動。そして、バスを降りライトが消えた瞬間、真っ暗闇の中、見上げた夜空は満天の星で、どこに何の星座があるのかも分からないほど。

　当時は今ほど星に詳しくなかったし、英語での星空解説はなんのことやらチンプンカンプンでしたが、あんなに夜空いっぱいの星を見たのは初めてで言葉にならないほどの感動でした。

　今度はいつ行けるか分かりませんが、次に行くときはしっかりカメラを持って写真も沢山撮りたいと思っています (*^^) b

yoshimaenon

定例観望会開催のお知らせ

いとゴンマークの「天文台号」が目印ですよ～♪

開催予定日　<< 要予約 >>

12 月 16 日（土）・01 月 20 日（土）

（開始時間 18:30～）　（開始時間 18:30～）

開催場所

志摩中央公園グラウンド（糸島市志摩初）

※ 雨・天候不良時は中止となります。

当日の天候によって開催状況が変わる可能性があるため、当日 17 時までにホームページ・Instagram・Facebook でお知らせします。確認いただき、ご来場をお願いします。

お問い合わせ・お申し込み

● 平日 (08:30～17:15) ●

糸島市生涯学習課

092-332-2092

↑前日までのご予約はこちらへ↑

● 観望会当日 (14:00～21:00) ●

星空ナビゲーター携帯

080-8050-8609

↑当日問い合わせはこちらへ↑

こちらで情報を発信をしております。何かお問い合わせがありましたら、メッセージ等でお問い合わせください。

ホームページ　いとしま天文台 検索

Instagram　ITOSHIMA_TENMONDAI

Facebook　いとしま天文台

★編集後記★ 早いもので2023年も最後の月となりました。コロナ禍も終わり、私達の星活動も以前の活発さを取り戻してだんだん忙しくなってきました。嬉しいことです♪来年度はプラネタリウムも再開できればいいなぁと思ってますのでお楽しみに (^_^)/

　さて、このほしぞら通信は今月キリ番の 90 号となりました。100 号まであと少し♪継続は力なり !! です (((o(*゜▽゜*)o)))